

令和2年8月7日

加盟大学剣道部
部長・監督・主務 各位

関西学生剣道連盟
会長 久徳 博文

今後の大会等行事の方針について

平素は学生剣道発展に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

既報の通り、全日本学生剣道連盟は、7月16日付けで第68回全日本学生剣道優勝大会および第39回全日本女子学生剣道優勝大会開催中止を決定いたしました。これに伴い、本年は、関西新人大会を除く、関西学生剣道連盟主催、または主管の大会全てにおいて中止が決定いたしました。

そこで、当連盟としては本年11月以降に関西選手権大会および優勝大会の代替大会が開催できないか検討して参りました。しかし、現下の大学剣道を取り巻く状況を鑑みますと代替大会の開催は、極めて厳しいと言わざるを得ず、以下の理由で開催の検討を断念いたします。

1) 社会の状況

新型コロナウイルス感染症の感染者数が全国的に増加の一途をたどっており、特に関西地区の感染者数の増加は予断を許さない状況下にあり、現状を鑑みるとこの状況が長期化するものと認識しておく必要がある。

2) 大学・剣道部の状況

8月時点で入構禁止の大学が多数あり、また入構できたとしても課外活動や施設の利用を大学側が制限、禁止し、加盟大学の半数以上が稽古、練習を再開できていない状況である。特に4回生については帰省中であつたり、就職活動等に時間を取られクラブ活動ができておらず、大学によってはすでに部活動を引退している場合がある。

3) 大会運営に関する課題

会場の確保、選手をはじめとする参加者の感染防止策などの会場管理、審判員の確保と審判研修会の準備などが極めて難しい。

以上のことを踏まえて、関西新人大会の開催は今後の状況を見ながらの判断になりますが、当初計画を検討していた関西選手権大会、優勝大会の代替大会は断念せざるを得ないことをご理解ください。

以上